

登録コード	E9000300	開講年度	2026				
授業科目	障害児教育学演習					担当教員	楠見 友輔
英文授業名	Advanced Seminar of Education Study in Special Education					副担当	宮地 弘一郎
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	3
講義室	教育E 1 0 6			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				日本の特別支援教育（通常学校における特別支援教育を含む）制度、システム、授業実践に対する深い理解を持つ。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教育現場の問題を具体的に把握し、課題の分析と問題解決の方策を提案できるための学術的、実践的なアプローチを習得する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	卒業論文作成の準備を通して、特別支援教育の現状と課題を理解し、教育実践の課題解決のための論理的な分析と問題解決能力を習得する。 1) フィールドエントリー、観察、インタビューの方法を学ぶ 2) 質的研究の読み方、分析やまとめの方法、発表の方法を学ぶ 3) 論文執筆のための基礎的な手続きを学ぶ 4) 授業の見学を行い、分析をする						
(5)授業計画	第1回 イン트로ダクション：質的研究の概要 第2回 文献の形式に注目した読み（インタビュー研究） 第3回 文献の形式に注目した読み（観察研究） 第4回 文献の形式に注目した読み（レビュー研究） 第5回 文献の形式に注目した読み（理論研究） 第6回 質的研究の背景理論 第7回 フィールドエントリー 第8回 インタビューの方法 第9回 帰納的コーディング 第10回 演繹的コーディング 第11回 カテゴリー生成 第11回 ストーリーの記述 第12回 論文作成の方法（問題関心、方法） 第13回 論文作成の方法（結果と考察、総合考察） 第14回 プレゼンテーションの方法 / 授業アンケート						
(6)成績評価の方法	レポート（50%） プレゼンテーション（50%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	レポートの評価基準は次のとおりである。 （i）内容が適切に整理されている（0 25点） （ii）内容に対する適切なコメントが含まれている（0 25点） プレゼンテーションの評価基準は次のとおりである。 （i）グループでの調査に積極的に貢献している（0 10点） （ii）調査内容の分析に積極的に貢献している（0 10点） （iii）分析結果の考察に積極的に貢献している（0 10点） （iv）プレゼンテーションの作成に積極的に貢献している（0 10点） （v）プレゼンテーションの質（0 10点）						
(8)事前事後学習の内容	授業の前に発表資料を作成し、発表及びディスカッションに臨むことを事前学習に求める。 発表及びディスカッションにおいて指摘された修正及び新たな課題を次の授業までに準備することを事後学習に求める。この授業は90時間の学習を必要とする内容のため、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問や相談については、事前に楠見（kusumi@shinshu-u.ac.jp）までメールで連絡を取ること。						
【教科書】	これからの質的研究法：15の事例にみる学校教育実践研究（東京図書、2019年出版）						
【参考文献】	使用しない						